

令和6年度 杵築市地域自立支援協議会

令和6年7月5日（金）

杵築市社会福祉協議会 大会議室

杵築市役所福祉事務所 障がい福祉係

本日のプログラム

自立支援協議会と
障がい福祉計画

- 自立支援協議会とは
- 障がい福祉計画とは

障がい福祉事業報告

- 事業の進め方
- 事業の報告

事業について協議

- 質疑応答

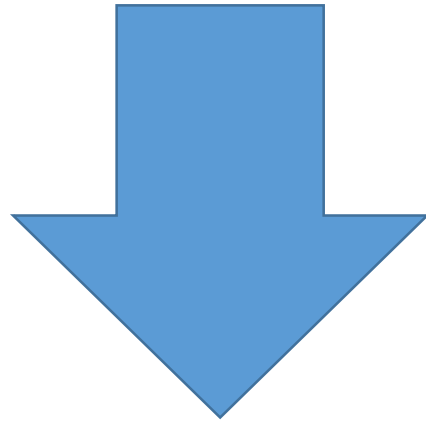
自立支援協議会とは

自立支援協議会とは、
地域の福祉の専門家にお集まりいただき、
障がい福祉に関する計画の策定や、同計画
に基づく市の障がい福祉事業が地域の実情
に合っているか協議をする場
(障がい者総合支援法に基づくもの)



自立支援協議会の役割とは

市の職員が考える事業は、福祉の現場の実情に合っているとは言い難い一面がある



事業の内容や方向性について、
専門家の意見を聴取する必要がある

自立支援協議会の役割とは

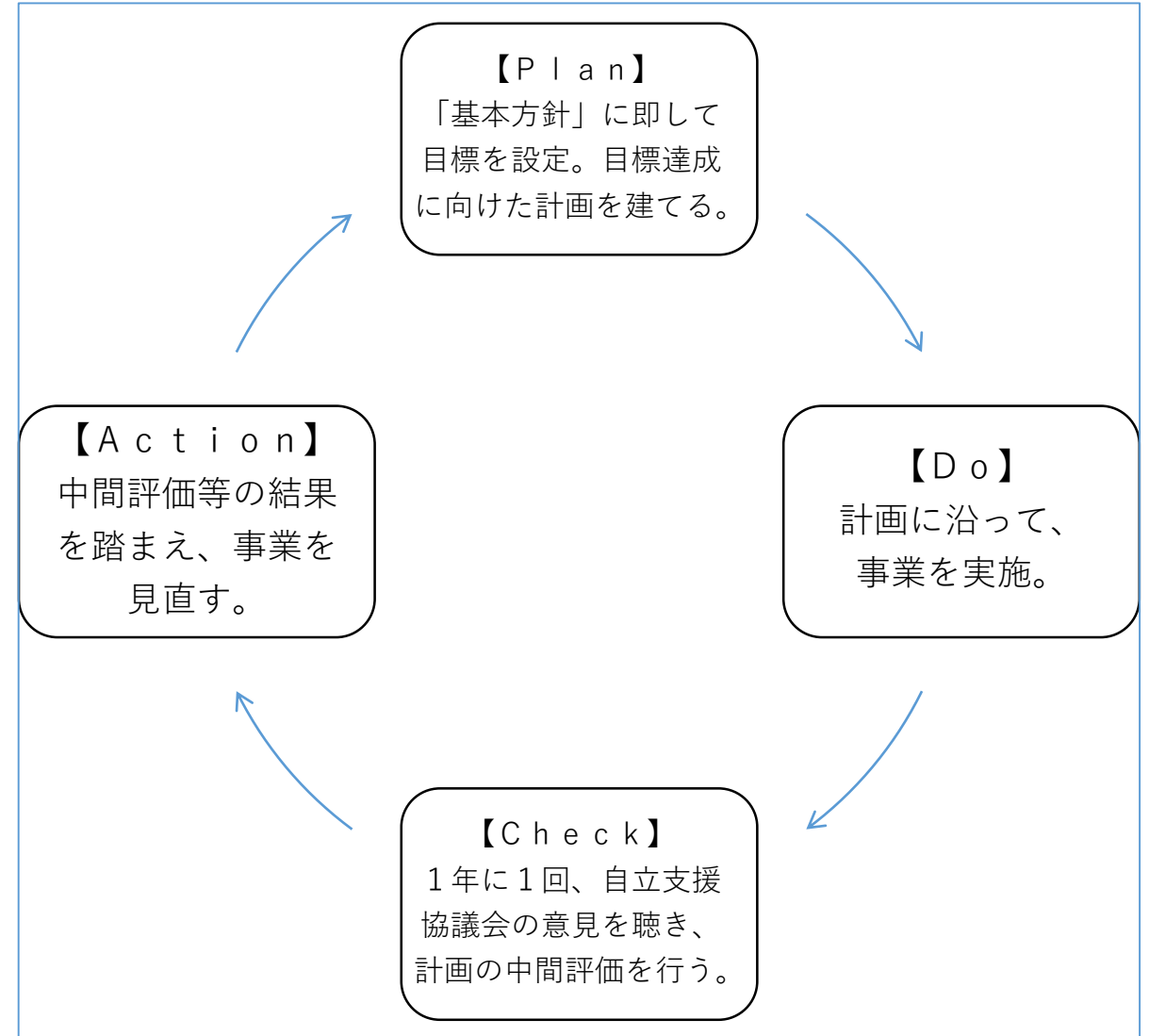
計画の達成状況と進捗を
評価する機能を有する

【P l a n】 = 計画

【D o】 = 行動

【C h e c k】 = 確認

【A c t i o n】 = 見直し



障がい福祉に関する計画

障がい者基本計画

- 障がい者施策全般にかかわる理念や基本方針を定めたもの
- 障害者基本法に基づく

障がい福祉計画

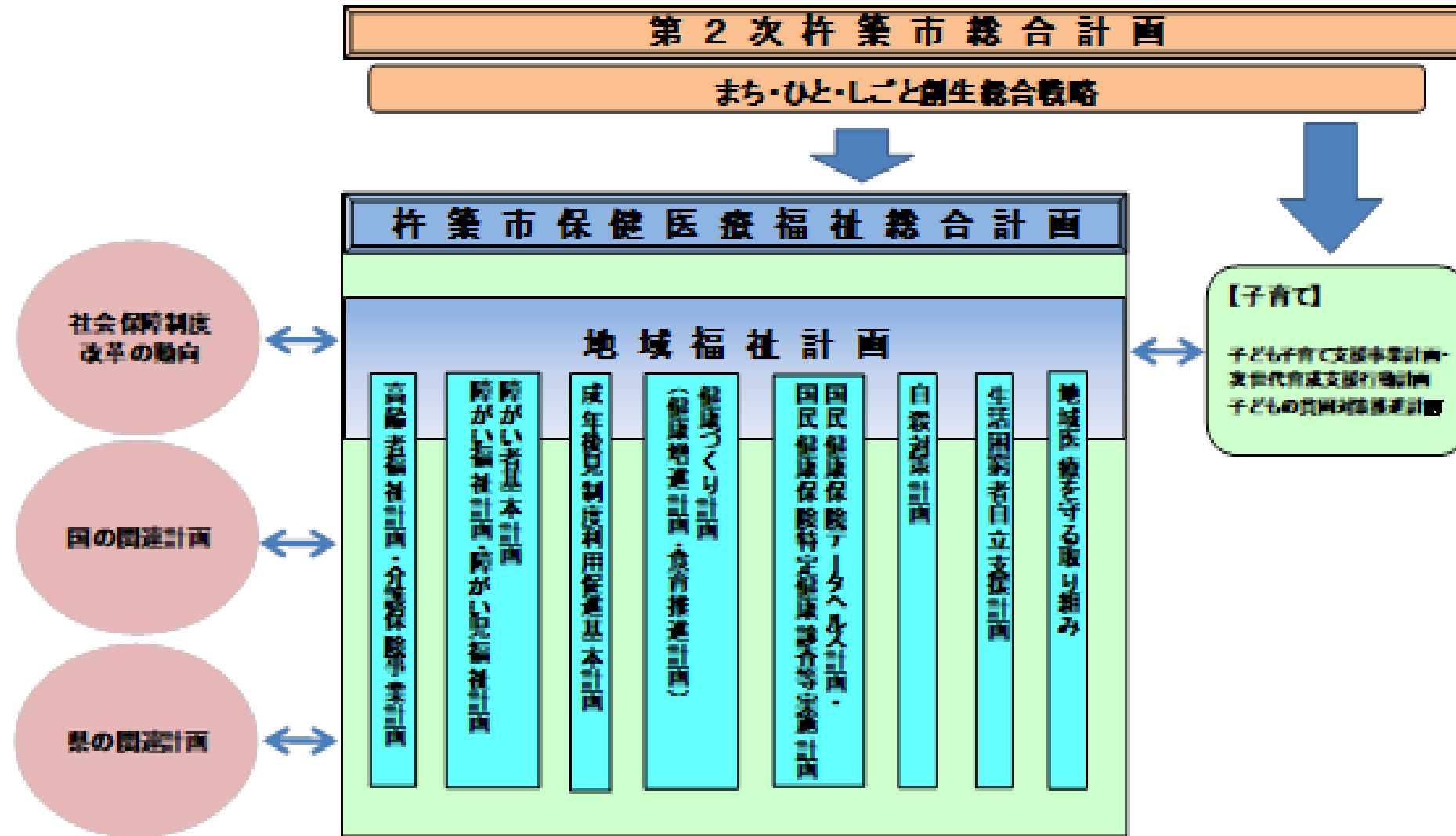
- 障がい福祉サービスの提供体制の確保や、円滑な業務実施に関するもの
- 障害者総合支援法に基づく

障がい児福祉計画

- 障がい児通所支援の提供体制の確保や、円滑な業務の実施に関するもの
- 児童福祉法に基づく

全ての計画を互いに連動させるため、令和6年度から3計画を1本化した

障がい福祉計画の位置づけ



障がい福祉行政の現状

知的・精神の障がい者手帳
の取得者数が年々増加

平成30年度			
療育	232名	精神	199名



令和5年度			
療育	329名	精神	289名

市役所の職員の数は一減少傾向

障がい福祉行政の現状

市が**単独**で事業を実施
するのは**限界**がある

事業の進め方

人手不足の中でも、効果的な事業を実施していくための二本柱

官民連携事業

他の行政機関との
連携・強化

障がい福祉係が考える連携事業で大切なこと

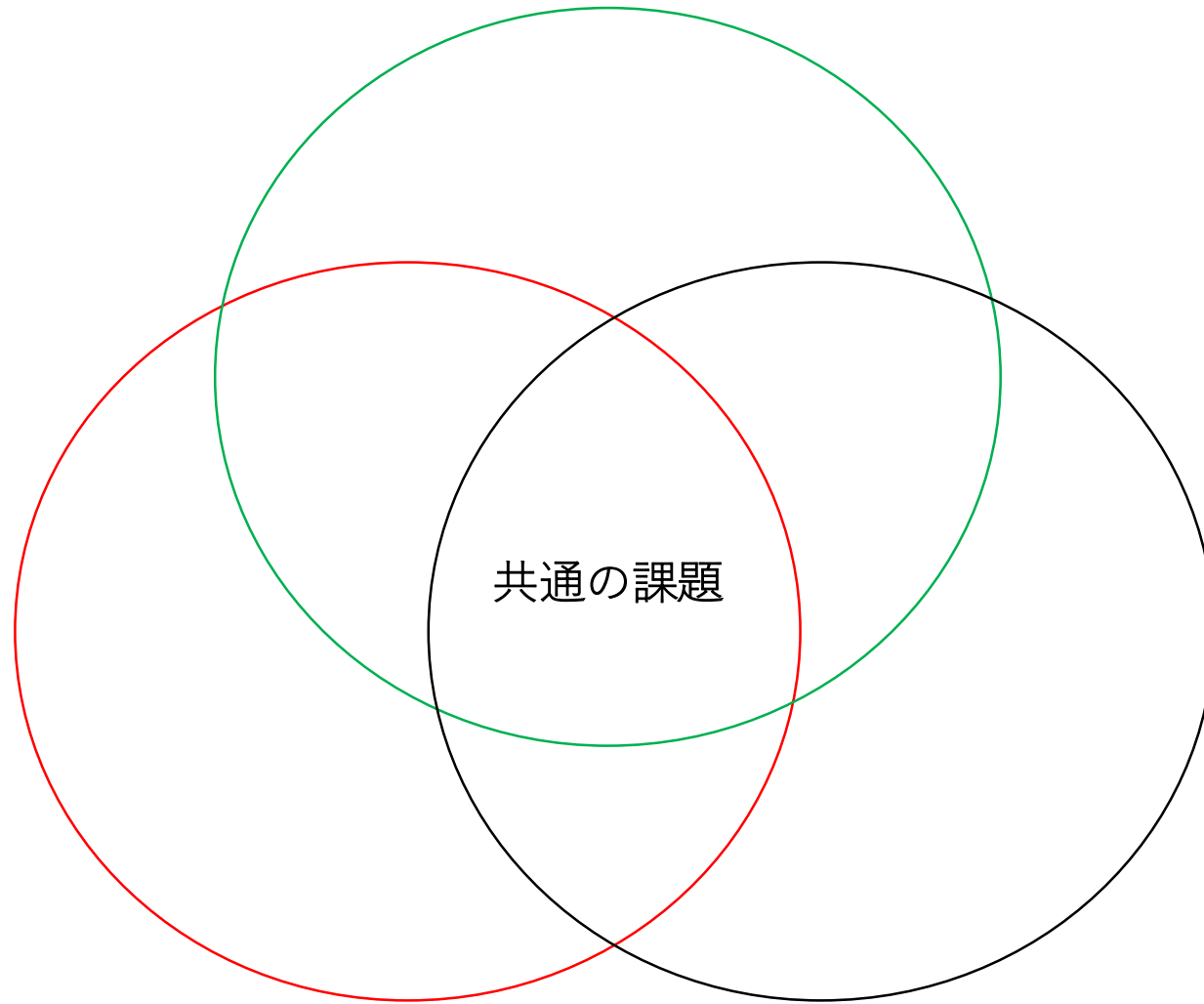
行政の
課題

事業所の
課題

相談員の
課題

共通の課題を見つけること

障がい福祉係が考える連携事業で大切なこと



障がい福祉事業の報告



子ども支援部会・就労支援部会

(社会福祉協議会・相談支援専門員との連携による取組)



パラ卓球拠点整備事業

(日本肢体不自由者卓球協会、卓球連盟との連携による取組)



外国人介護人材の受け入れ

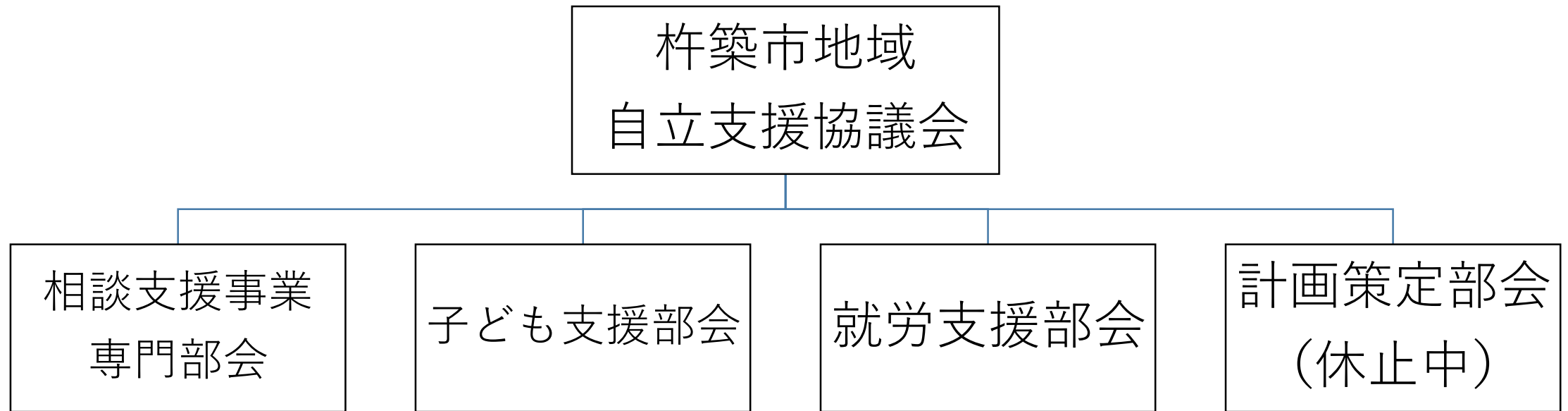
(大分県社会福祉協議会との連携による取組)



他の行政機関と連携強化

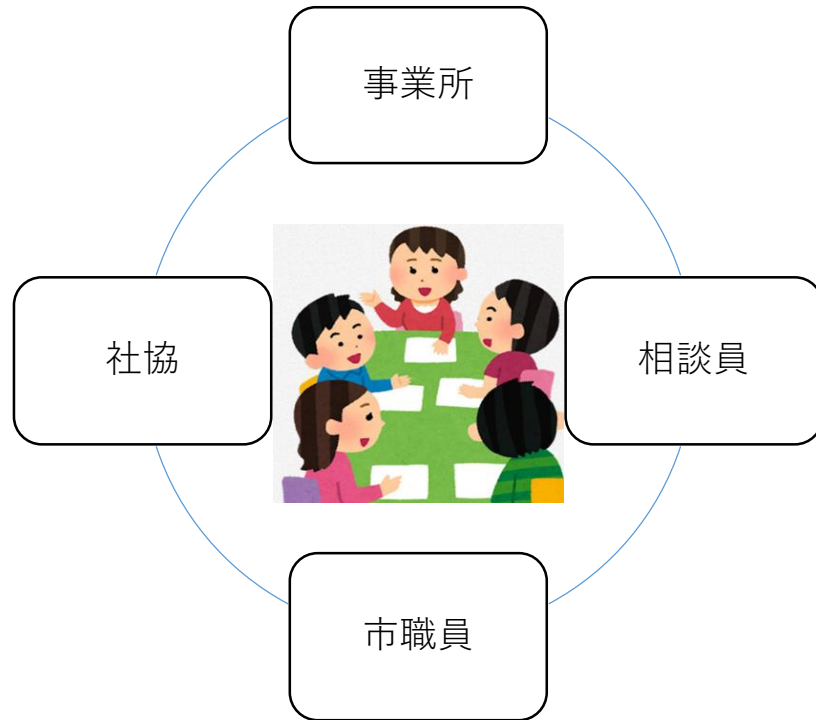
(県・日出支援学校・近隣市町村と連携した取組)

各部会の位置づけ



子ども（就労）支援部会とは

事業所の課題解決を協議する場



市内の事業所の職員にお集まりいただき、社会福祉協議会（基幹系相談支援センター）が中心となり、各事業所が抱える課題の解決を協議する

部会の運営主体

相談支援事業専門部会（毎月開催）



行政

政策提案

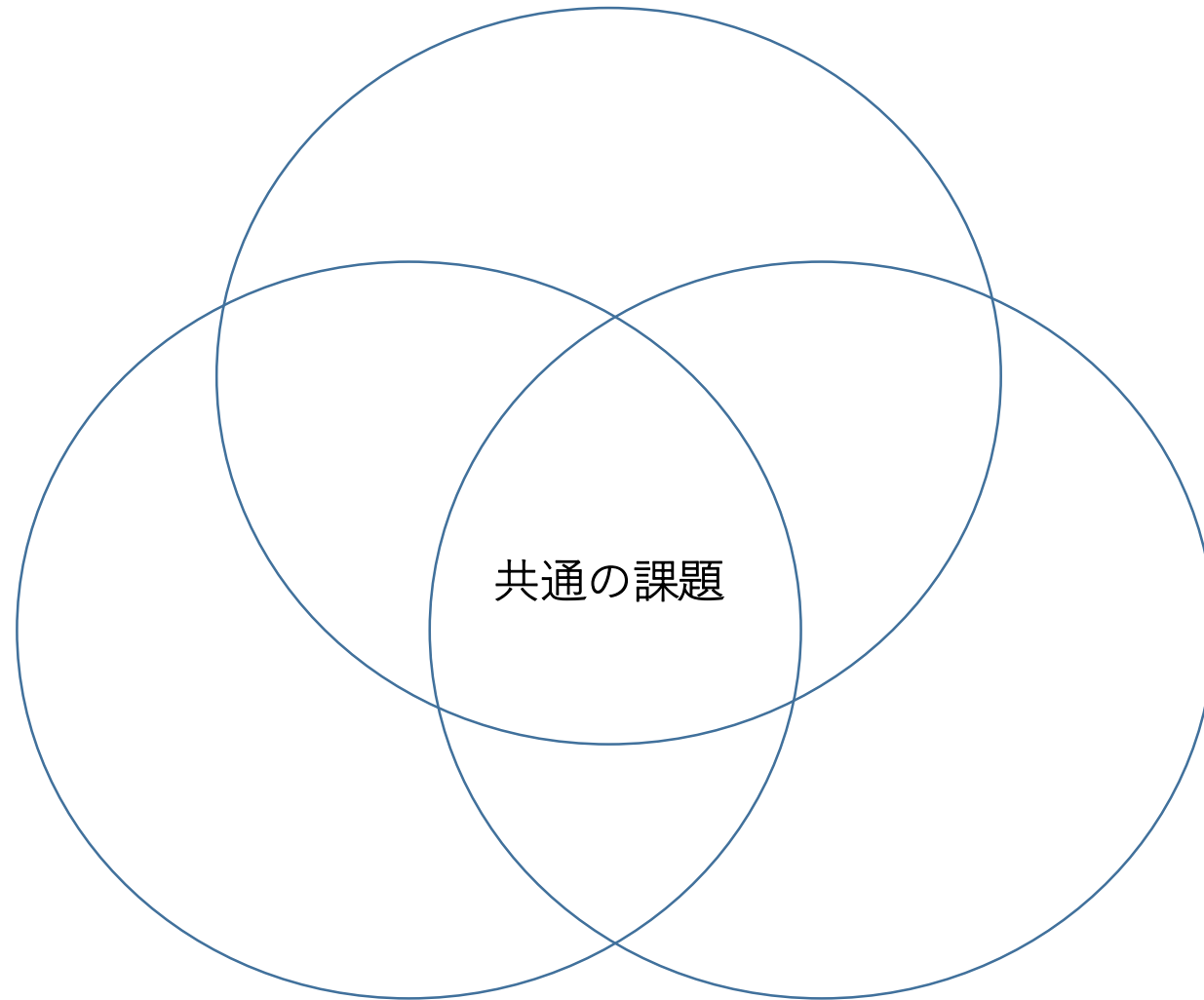
社協

事務局

相談員

部会の進行

相談支援事業専門部会で共通の課題発掘





子ども支援部会の活動

障がい児福祉計画で計画していること

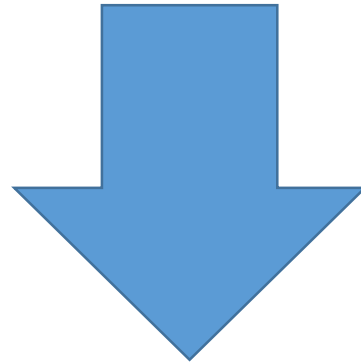
第3期障がい児福祉計画

市内の障がい児通所支援事業所が質の高い専門的な発達支援が提供できる環境整備を行う。



令和 6 年度から報酬改定が行われる

事業所は、児童の特性を踏まえたうえで、適切な療育支援を行うことを求められている（令和 6 年度報酬改定にて）



「児の預かり」ではなく**「児ができる」**ことを増やしていく療育支援を提供する必要がある

市内の児童通所支援事業所の声

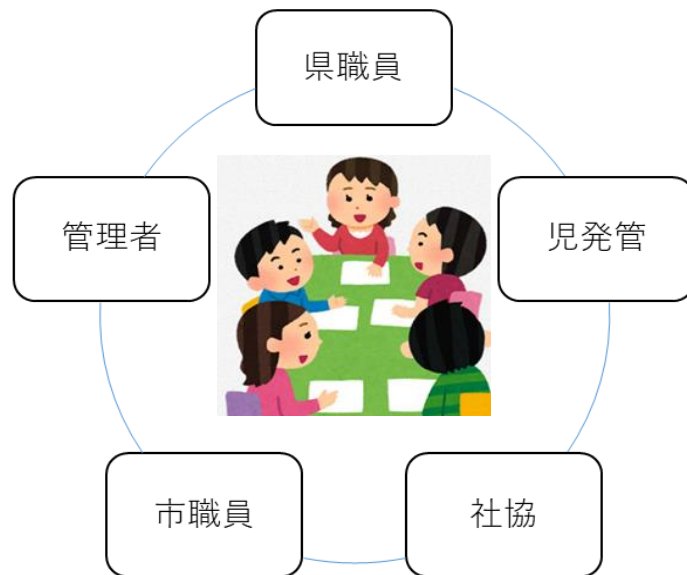
事業所の意見

- 令和 6 年度の報酬改定について理解を深めたい。
- 療育支援について理解を深めたい。
- 管理者向けの研修はあるが、直に児童と関わる支援員向けの研修が無い。

市内事業所へのアンケート調査にて

令和6年度子ども支援部会の活動内容

管理者向け
療育の意見交換会



障がい福祉に精通した県の職員
を招き、管理者と意見交換会

療育支援の方法について研修会



療育支援の最先端を走る、県内の事業所代表
を招き、市内事業所の全職員を対象に研修会



就労支援部会の活動

障がい福祉計画で計画していること

第7期障がい福祉計画

障がい福祉サービス体制の整備の一環として、市内の障がい者施設の広報・周知を計画



市内の就労支援事業所の声

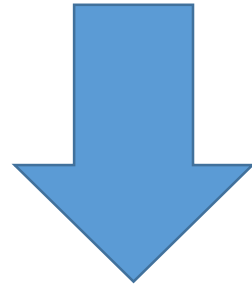
事業所の意見

- 利用者と事業所のミスマッチがある。
- 他の事業所の支援内容を知りたい。
他の事業所の良いところを、自事業所にも取り入れたい。

市内事業所へのアンケート調査にて

令和 6 年度就労支援部会の活動内容

利用者と事業所のミスマッチ防止
市内事業所の支援内容の見える化



事業所がどのような支援を行っているか
一目でわかる事業所パンフレットを作成

ミスマッチの具体例

(ケース) 精神的な理由で一般就労ができなくなった
A子さんが、就労支援事業所に通うまで

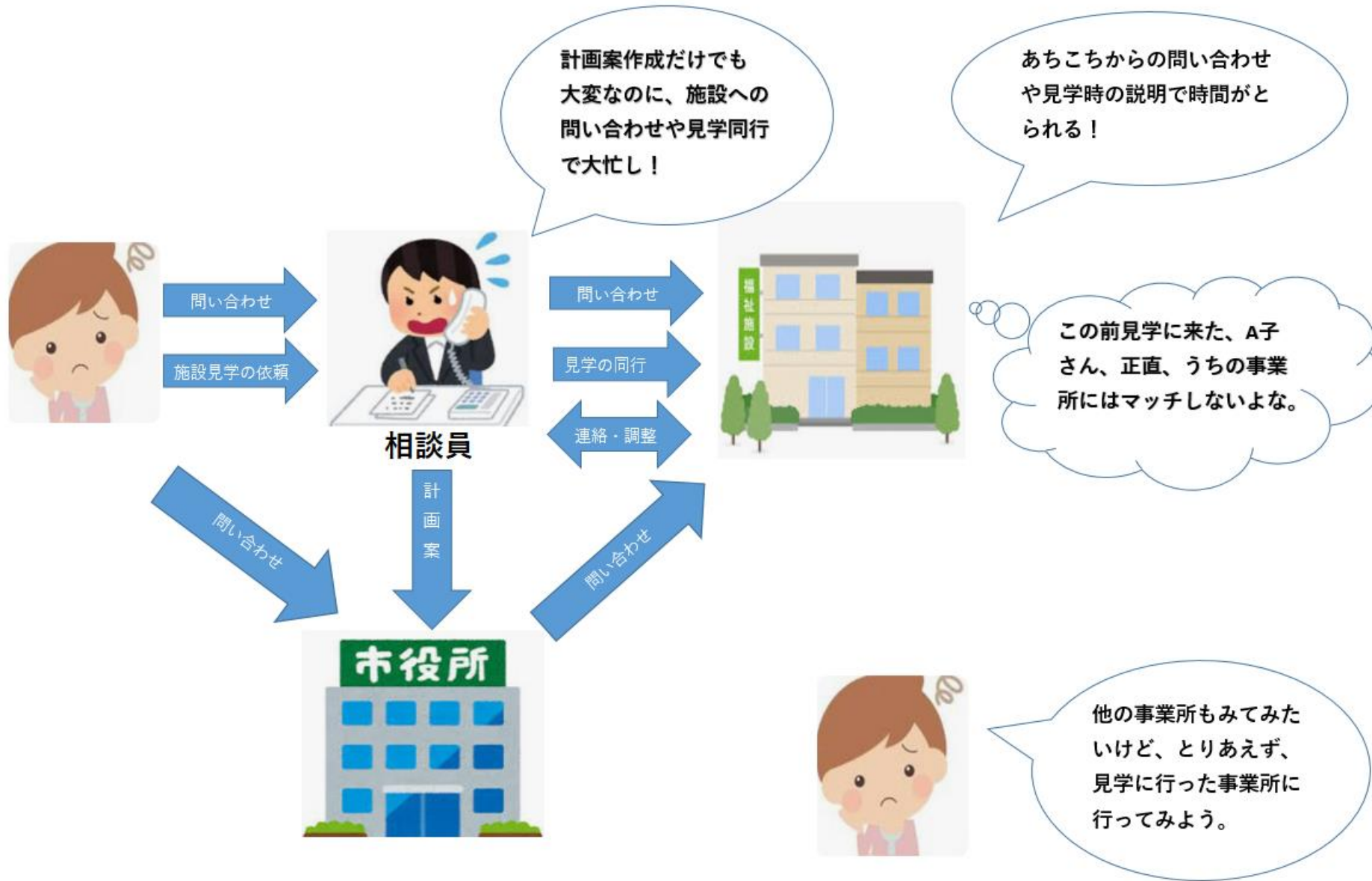
就労支援事業所に通いたいけど、杵築市内にはどういった事業所があるのかしら



A子さん

送迎してもらえるか、食事ができるかも等も知りたいわ。市役所や相談員さんに聞いてみよう

ミスマッチの具体例



ミスマッチの防止

市内の事業所の
パンフレットが有れば・・・



A子さん

この事業所
に行きたい。



申請



相談員

連絡・調整



計画案





パラ卓球拠点整備事業

障がい福祉計画で計画していること

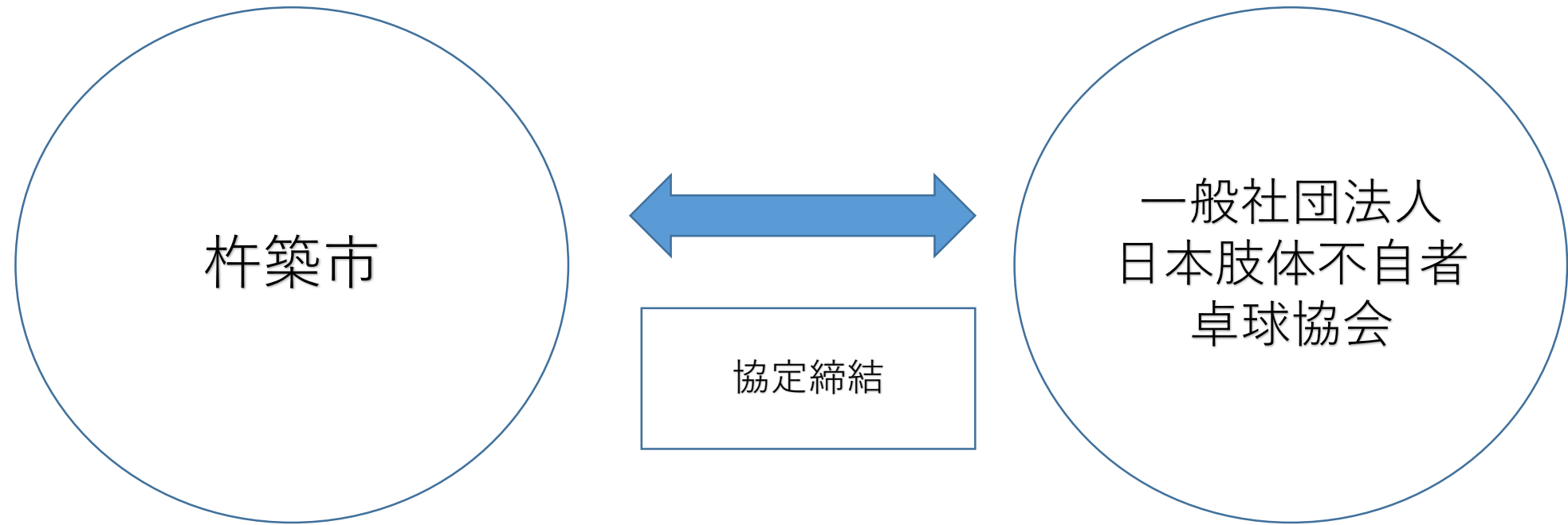
第7期障がい福祉計画

障がい者の社会参加の一環として、障がい者スポーツの環境整備を計画

杵築市の方針

障がいの有無にかかわらず、スポーツに取り組める環境整備（地域共生社会の実現）

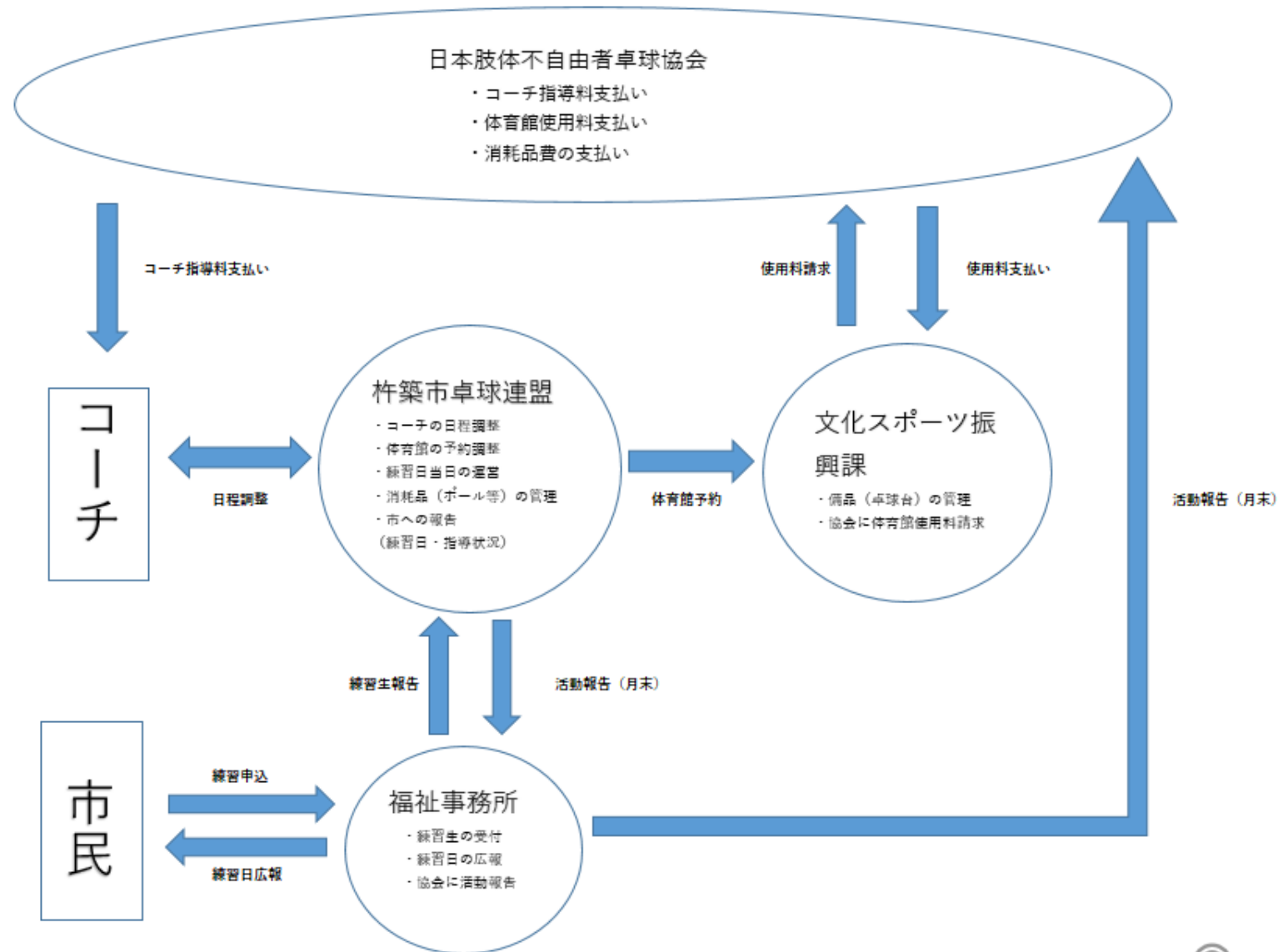
日本肢体不自由者卓球協会と協定を締結



協定の内容

協会は、事業に係る経費を全額負担（令和6年度）
杵築市は、パラ卓球の練習を通して普及啓発を図る

パラ卓球練習会の体制



オープニングイベントを開催

障害ある人向け 卓球教室開催へ

杵築に拠点、月2回ほど指導



体験イベントで、パラ卓球選手（手前）とラリ
ーをする小学生。杵築市本庄の市文化体育館

【杵築】杵築市と日本肢体不自由者卓球協会（東京都）は、パラリンピックの卓球競技に出場する選手の発掘、育成を目指し、練習拠点を市内につくった。同協会が進めている選手育成環境の整備事業の一環。他に全国3カ所に設置しており、県内は杵築市のみ。市は「障害の有無にかかわらず、誰にでもスポーツを楽しんでもらえるきっかけになれば」と話している。

パラ

選手育成目指す



練習会への
参加を希望し
ている大西勇
真（10）は「卓球は何度かやっ

たのは北九州市や千葉県
旭市など。

主に肢体に障害のある人
が対象。月に2回ほど、市
文化体育館（本庄）で練習
会を実施する。パラリンピ
ックのシドニー、アテネ両
大会に出場した県障害者卓
球連盟の小野初夫会長らが
指導する。
市が2022年度、障害
のある市民に実施したアン
ケートでは、「スポーツを
できる環境がない」との声
が多く寄せられたという。
練習会は大会への出場を目
指す人だけでなく、軽い運
動を楽しみたい高齢者など
も参加できる。

たことがある。練習できる
場所ができてうれしい」と
喜ぶ。
12日にはオープンを記念
し、地元の卓球クラブに所
属する小中学生にパラ卓球
を体験してもらおうイベント
が開かれた。車いすのクラ
スでパラリンピック出場を
目指す七野一輝選手と中村
亮太選手が訪れ、児童、生
徒とラリーをするなどし
た。車いすに乗りながら機
敏にプレーする2選手に、
子どもたちは歓声を上げて
いた。

初回の練習会は18日午後
2時から。杵築市は「経験
者でも初心者でも、気軽に
参加してほしい」と呼びか
けている。参加申し込みは
市福祉事務所障がい福祉係
（0977・75・240
5）。

（横田志成）

パラ卓球練習内容



- 練習場所
杵築市文化体育館
- 練習回数
月 2 回
- 現在の練習生
市内の男子中学性 1 名
小学生 1 名

外国人介護人材の受け入れ

障がい福祉計画で計画していること

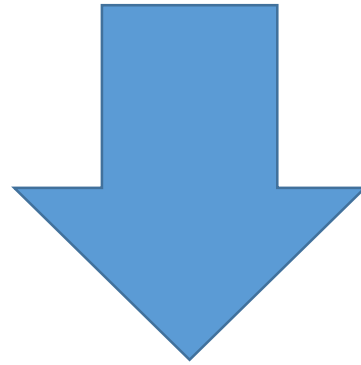
第7期障がい福祉計画

障がい福祉人材の確保・定着に向け、
外国人等、新しい人材の発掘を計画



外国人介護人人材の受け入れ

介護保険事業所は、外国人介護人材の受け入れが進んでいるが、障がい事業所には進んでいない現状がある。



他の行政機関が実施する「外国人介護人材受入政策」を市内事業所に紹介

県・県社協の政策の具体例

受入推進協議会研修会

外国人介護人材の受入を希望する県内の施設を対象にしてセミナーや研修会を開催する

アドバイザー派遣事業

受入を希望している県内の施設にアドバイザーを派遣し、受け入れについてレクチャー

マッチング支援事業

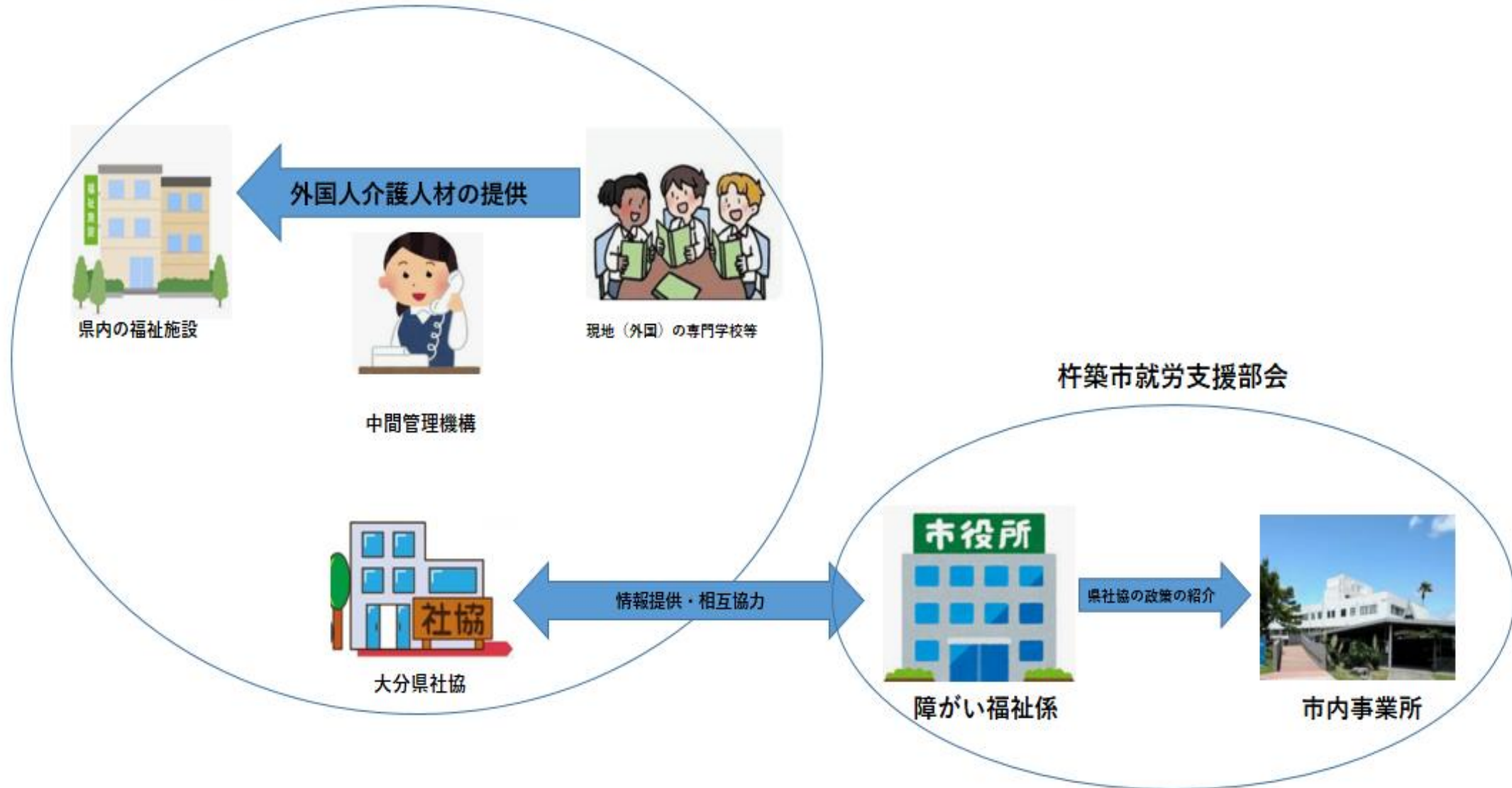
外国人を派遣してくれる現地の機関と県内事業所、中間管理機構とのマッチングを図る

大分県に来た外国人への支援

外国人への日本語学習支援や生活支援、介護福祉士国家試験対策等の多様な支援を行う

県・県社協の政策を市内事業所に紹介

大分県社協のマッチング支援事業



他の行政機関と連携強化

障がい福祉計画で計画していること

第7期障がい福祉計画

○障がい者の状況に応じた福祉サービスの提供体制の構築のため、市町村事務担当者や支援学校との意見交換を計画

○審査支払システムを活用し、障がい福祉サービスの請求の誤りを少なくする体制整備を計画

他の行政機関と連携強化

移行支援会議

日出支援学校が開催する、次年度の卒業予定者の卒業後の進路に関する支援会議に市の担当者が参加

近隣市町村事務担当者会議

杵築市に隣接する市町村の障がい福祉サービスの担当者が集まり、業務効率化に向けた検討会を開催

審査支払システムの意見交換

県・杵築市・システムの開発業者が集まり、過誤請求の防止に向けた運用に関する意見交換会を開催

パラ卓球拠点整備自治体との連携
パラ卓球拠点整備に取り組む自治体（北九州市・新潟県新発田市・千葉県旭市）の職員との意見交換

質疑応答



子ども支援部会・就労支援部会

(社会福祉協議会・相談支援専門員との連携による取組)



パラ卓球拠点整備事業

(日本肢体不自由者卓球協会、卓球連盟との連携による取組)



外国人介護人材の受け入れ

(大分県社会福祉協議会との連携による取組)



他の行政機関と連携強化

(県・日出支援学校・近隣市町村と連携した取組)

1) イベント事業報告について

イベント名：第9回「YOU&あいサンフェスタ」

日 時：令和6年3月10日（日）午前10時から午後2時まで

場 所：日出町保健福祉センター

実行委員長：松尾 典子（日出町地域自立支援協議会会長）

事 務 局：日出町介護福祉課 障害福祉係

参加者

ウォークラリー（WR）	198名
-------------	------

ステージ出演者	39名（4団体）
---------	----------

スタッフ	62名
------	-----

ふれあいマーケット	20名（5団体）
-----------	----------

一般来場者	約180名
-------	-------

合 計	約500名
-----	-------